

## (国民の立場に立った)行政情報の電子的提供等に関する基本法案

日本の電子政府	シンガポールの電子政府
 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 役所が押しつける電子情報</li> <li>◆ 必要な情報が入手困難</li> <li>◆ 省庁に合わせた切り口</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国民のための電子情報</li> <li>◆ 最初のワンアクセスで何でも</li> <li>◆ 生活に根ざした切り口</li> </ul>
<b>政府の現計画</b>	<b>シンガポールでの事例</b>
<p>■ 電子政府の総合窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全省庁のホームページ情報を検索</li> <li>○ 調べたい情報や検索範囲を指定して検索</li> <li>○ 主要な個別データベースを検索</li> <li>○ 行政機関の各種情報へ案内</li> </ul>	<p>■ ワンストップ市民</p> <p>■ サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育    ○ 住宅    ○ 健康    ○ 職探し</li> <li>○ 海外旅行    ○ 家族    ○ ビジネス</li> <li>○ 定年退職    ○ 交通    ○ 人を雇う</li> </ul>

- 民主党は、「行政情報の電子的提供に関する基本法案」を制定し、政府は、市民がワンストップで生活に根ざした情報を入手できる仕組みをつくります。
- 政府のホームページを利用者中心主義に改め、国民の生活に根ざした、誰でも(含む身障者、高齢者、子ども、外国人)が使えるサービスの提供を義務付けます。地方自治体や教育機関等とも連携して、便利な情報を提供させます。

### この法律ができると、政府のホームページが変わります。

<p><b>1</b> 生活に根ざした各種手続情報を入手できる</p> <hr/> <p>住民票、大学受験、納税、パスポート、求職、中小企業支援</p>	<p><b>2</b> 誰にも使いやすい機器・情報環境を整備する</p> <hr/> <p>高齢者、障害者などにも使えるユニバーサル仕様で</p>	<p><b>3</b> どこでも、いつでも必要な情報を入手可能</p> <hr/> <p>駅などにパソコンを設置。行政情報・サービス窓口も整備</p>
--	---	---

